

## アジア・フェローシップ・プログラム 申請要領

### 1 趣旨

日本及び ASEAN 諸国において、国の枠を超えた共同協働事業を担い、活躍する人材を育成するために、一定の期間、自国外に滞在して活動を行う個人に対して、フェローシップを提供します。専門・関心分野に関する調査・研究・創作活動やネットワーク・プラットフォームの構築等を目的とした活動を支援します。

### 2 目的

国際交流基金アジアセンター(以下、アジアセンター)は、日本を含むアジア地域に住む人々が、交流や共同作業を通じてお互いのことを良く知り合い、アジアにともに生きる隣人としての共感や共生の意識を育ていくことを目指しています。

この目標を実現するため、アジアセンターでは主に以下の4つの目的を達成するための事業を実施・支援しています。

#### 交流の裾野を広げ、相互理解を促進すること

アジア域内の多様な文化を相互に紹介したり、幅広い交流・対話・出会いの機会を創出したりすることを通じて、日本におけるアジア理解やアジア諸国における近隣国理解を深め、交流の裾野を広げる。

#### 文化の担い手となる人材の育成や、制度や仕組みの整備・発展を促進すること

アジア諸国における文化の担い手となる人材の育成や、各国・地域の文化の保護・発展に必要なソフト・インフラ(文化面における制度・仕組み等)の整備・拡充を、交流や協働作業を通じて促進する。

#### 新たなネットワークの形成、持続的な交流基盤・プラットフォームの構築を促進すること

アジア諸国の文化の担い手同士を結び付ける新しいネットワークを形成し、共通の課題解決や目的達成に向けて自律的かつ継続的に対話・協力を進めるための持続的な交流基盤・プラットフォームを構築する。

#### 新しい価値・ムーブメントの創出、未来に向けた問題提起・提言を促進すること

アジアの中で芸術・文化における協力や共通課題解決に向けた共同研究等の協働の取組を進め、その成果としての新たな価値やムーブメント、問題提起をアジアから世界に発信して交流の輪を広げていく。

「アジア・フェローシップ・プログラム」は、これらのアジアセンターの活動目的のうち、特に ~ の目的に合致した領域で、**明確な目的と計画を持って活動を行う個人**に対して、フェローシップを提供します。

### 3 対象となる活動

#### (1) 活動対象国

- ・ 日本又は ASEAN10 各国(インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス)における活動を対象とします。
- ・ 複数の国にわたる活動も可とします。
- ・ 日本以外の国からの申請の場合には、活動対象国に日本が含まれていることが条件となります(ASEAN 地域に居住する日本国籍・永住権保有者は除く)。
- ・ 申請者が国籍/市民権/永住権を有する国、あるいは現在居住している/活動の基盤を置いている国(以下「居住国」という)における活動は対象外となります。
- ・ 複数国で活動する場合は活動対象国への渡航は一筆書きでなくてはなりません。(例: A・B2 各国で活動を行う場合、「居住国 A 国 居住国 B 国 居住国」や「居住国 A 国 B 国 A 国 居住国」ではなく、「居住国 A 国 B 国 居住国」とすること。)

#### (2) 対象分野

|         |                                                             |
|---------|-------------------------------------------------------------|
| 文化・芸術   | 造形美術、舞台芸術、音楽、映画、映像、写真、建築、彫刻、工芸、文化遺産の保護・活用、文化政策、アートマネジメント等   |
| 学術・知的交流 | 人文科学(文学、歴史学、芸術学、文化人類学、社会学、宗教学等)<br>社会科学(政治学、経済学、社会学、国際関係論等) |
| スポーツ    | スポーツ交流・指導等                                                  |

|                  |                                     |
|------------------|-------------------------------------|
| メディア<br>・ジャーナリズム | 取材・リサーチ・研究等                         |
| 市民社会             | コミュニティー活動、NPO/NGO 活動、社会起業、フィランソロピー等 |
| その他              |                                     |

なお、以下に該当する活動は対象にはなりません。

- ア 自然科学・医学・工学分野における活動
- イ 日本研究・日本語教育分野における活動
- ウ 高等教育機関での単位取得を目的とする活動
- エ 政治的・宗教的な目的の活動
- オ 営利活動や資金調達活動
- カ 言語の習得を目的とする活動
- キ 産業関連の技術習得を目的とする活動
- ク 実務研修を主たる目的とする活動

日本研究を目的として来日する者は、「国際交流基金日本研究フェローシップ」に応募してください。

日本美術の調査、研究、資料情報収集を目的として来日する者は「石橋財団・国際交流基金日本美術リサーチフェローシップ」に応募してください。

(3) 活動期間

短期 (21日～59日)

長期 (60日～6か月)

活動対象地に到着し活動を開始する日から活動を終了する日までを「フェローシップ期間」とします。

フェローシップ期間は、原則として1回の連続した期間であることを条件とします。複数回に分けての取得は認められません。

(4) 対象期間

【第1回募集】

2019年6月1日以降、2019年11月30日までに開始する活動が対象。

【第2回募集】

2019年12月1日以降、2020年5月31日までに開始され、2020年9月30日までに終了する活動が対象。

2020年度は募集を行わない可能性があります。

(5) 活動内容

上記(2)に掲げる分野における**実践的な活動**

(調査・研究、論文・報告書・ルポルタージュ等の執筆、インタビューやデータ収集等の取材、作品制作、ネットワーク形成やプラットフォーム構築を目的とした会議の出席等)

(6) 受入保証

協働性を担保できる合理的な受入保証 (受入機関、受入協力者) があることを条件とします。

4 対象者の要件

(1) 対象者

「3(2)対象分野」に掲げる分野で活動する専門家や実務者

(アーティスト、学芸員、アートマネジメント担当者、プロデューサー、研究者、非営利団体の実務者、ジャーナリスト、作家、評論家、スポーツ分野の専門家等)

(2) 居住地及び国籍/市民権/永住権

日本又はASEAN10か国に居住し、日本又はASEAN10か国の国籍/市民権/永住権を有していること。

日本と国交のない国の国籍の者は、申請資格はありません。

(3) 国際交流基金からフェローシップの支給経費の交付を受けることについて自国の法令等に違反していないこと。

(4) 日本(国際交流基金本部)から送金を受けることができる申請者名義の銀行口座を保持していること。

又は、フェローシップの支給経費の受諾までに開設できること。

- (5) 国際交流基金に対する活動報告等を行うのに十分な英語力又は日本語力を有していること。  
活動内容により特定の外国語の能力が不可欠と判断される場合は、当該言語の語学力の証明を求める場合があります。

## 5 支給内容

### (1) 支給経費

採用された方には、以下の経費を支給します。本フェローシップでは家族等の同伴者に関する経費は支給いたしません。

#### ア 国際航空運賃（エコノミークラス割引運賃）

- ・ 申請者居住地最寄りの空港から活動対象地の空港までの往復運賃（空港利用税、燃油サーチャージ等を含む）
- ・ 複数の国において活動を行う場合は、原則として申請者居住地最寄りの空港発着の周遊航空券の価格を支給対象の上限額とします。

#### イ 滞在活動費

- ・ 滞っておよび活動のための諸経費、作品制作のための材料費、ワークショップや作品展開催費、通訳、現地の交通費に充てられることを想定しています。
- ・ 受入機関が宿泊施設や食事等を無償で提供又は補填する場合、支給内容を見直す場合があります。

|        | A地域       | B地域                                             |
|--------|-----------|-------------------------------------------------|
| 短期（日額） | 17,800 円  | 14,400 円                                        |
| 長期（月額） | 433,000 円 | 350,000 円                                       |
| 滞在国区分  | 日本、シンガポール | インドネシア、カンボジア、タイ、マレーシア、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー、ラオス |

1 か月に満たない期間は、日割り計算となります。

### (2) 支給方法

- ・ 原則として短期の場合は一括で、長期の場合は1ヶ月に一度、申請者名義の銀行口座に送金します。
- ・ 国際交通運賃、その他交通費は、帰国後に必要書類（領収書、航空券の半券等）をアジアセンターに提出後、支給されます。

## 6 締切・通知時期（短期・長期とも）

### 【第1回募集】

締切：2018年12月3日（必着）

結果通知：2019年4月予定

### 【第2回募集】

締切：2019年6月3日（必着）

結果通知：2019年9月予定

選考結果は申請者本人に書面にて通知します。

選考中の状況や選考結果に関する問合せには応じられません。

## 7 選考基準

- (1) 申請した活動内容の関連専門分野で相応の実績があり、活動を遂行する能力を有しているかが重要な判断基準となります。申請された活動内容に応じて、以下のような要素を総合的に判断して採否を決定します。

ア 関連分野における学位（修士号以上）又は相当する研究・実務経験

イ 論文や著作等の公刊された業績

ウ 過去の活動実績

- (2) 加えて、以下のような観点から審査し採否を決定します。

- ・ アジアセンターの活動目的に合致しているか
- ・ 明確な目的と達成目標、及び活動計画があるか
- ・ 活動目的に国を超えた協働の要素が認められるか
- ・ 活動対象地での実施が目的・計画上必要不可欠であるか
- ・ 受入機関、受入協力者が適切であるか

- ・ 活動計画、申請期間、達成目標が合理的、かつ現実的か
  - ・ 申請された活動内容がこれまでの実績の延長線上にあるか
  - ・ 今後のさらなる活躍が期待できる人物か
  - ・ 成果がフェロー本人の業績にとどまらず、一般社会に還元できるものか
  - ・ 当該分野の将来の発展や、そのための基盤形成に寄与するか
- (3) 受入保証  
活動対象国での受入保証は協働性を担保するうえで不可欠ですので、受入機関や受入協力者との合意や調整の状況がわかる資料を添付してください。状況が不明の場合は、本フェローシップの審査において優先度が低くなります。
- (4) 過去のフェローシップ受給歴  
過去に日本研究フェローシップ、安倍フェローシップ等、国際交流基金のフェローシップを受給したことのある場合には、本フェローシップの審査において優先度が低くなります。
- (5) 選考状況によっては、電話による問合せや面接を行う場合があります。

## 8 フェローシップ受給者の義務

受給者の義務やあらかじめ定める規則に反した場合、国際交流基金はフェローシップの取消、フェローシップの供与（航空運賃支給を含む）停止、又は支給済経費の返還を要求することがあります。

- (1) 専念義務  
本フェローシップを受給している期間中はフェローシップ活動に専念することとします。活動対象地において有給の就労（雇用契約を結んで収入を得る等）に就くことは認められません。また原則として、活動対象地を離れることは認められません。
- (2) 報告書の提出  
フェローシップ期間中は定期報告書を、終了後2か月以内に最終報告書を国際交流基金に提出することとします。

### その他の留意事項

- ・ フェローシップ期間中の活動やその活動に起因する結果についての責任は、全てフェロー本人が負うものとします。フェローシップ期間中の病気・事故等について国際交流基金は責任を負いません。
- ・ 活動対象地域での事業の実施にあたっては、安全な海外渡航・滞在のために、外務省海外安全ホームページから現地の安全情報を入手・確認してください。  
外務省海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp/index.html>
- ・ 海外に渡航する際には「たびレジ」に登録し、海外におけるより一層の安全確保に努めてください。活動対象地域の治安状況によっては、国際交流基金は渡航を認めない場合があります。  
「たびレジ」：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>
- ・ 活動対象国や経由地乗換のために査証が必要な場合、取得の手続きはフェロー各自の責任で行ってください。申請前にあらかじめ査証の要否や自分の活動に必要な査証の種類を確認するようにしてください。また、国によっては査証の取得に時間を要する場合がありますので、手続きは早めに行ってください。
- ・ 国際交流基金は、査証取得のために必要な和文・英文の証明書を発行する等の便宜を提供します。
- ・ 本フェローシップを、他のフェローシップや助成金と同時に受給することは認められません。

## 9 申請手続

- (1) 申請書類
- ア 申請書類フォーマットは、以下のウェブサイトから入手可能です。  
<http://www.jpf.go.jp/j/program/index.html>
- イ 申請に必要な書類は、以下 ~ のとおりです。

申請書式 [様式第1号]

申請者の経歴（活動経歴書）

受入同意文書（コピーも可、書式は自由ですが必ず「承諾者の氏名」「押印又は直筆サイン」

「受入期間」を記載してください)

受入機関・受入協力者に関する情報（機関概要、略歴・活動経歴書等）及び連絡先推薦書（2通）[様式第2号]（受入協力者とは異なる方に依頼をしてください）

推薦書は、様式をダウンロードのうえ2名の推薦者に渡し、国際交流基金アジアセンター、あるいは申請書を提出する国際交流基金の海外事務所又は日本国大使館に、推薦者から直接送付してください。

推薦書は、上記書類と同様に、第1回募集は2018年12月3日、第2回募集は2019年6月3日必着で送付するように推薦者に依頼してください。E-mail・FAXによる提出は受け付けません。

(2) 提出先

ア 日本からの申請

記録付き郵便又は宅配便にて国際交流基金アジアセンター宛に ~ までをそろえた申請書類一式の原本1部及びコピー1部を提出してください。封筒には必ず「アジア・フェロシップ・プログラム申請書 在中」と朱書きしてください。 の推薦書（2通）は、推薦者から提出先まで直送するよう、2名の推薦者に依頼してください。E-mail・FAX・持参・直接投函による提出は受け付けません。

**【提出先】**  
 独立行政法人 国際交流基金アジアセンター 文化事業第2チーム フェロシップ係  
 〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-16-3  
 Tel +81-3-5369-6025

イ 日本国外からの申請

居住国により提出先が異なります。以下の提出先に申請書類一式の原本1部及びコピー1部を提出してください。E-mail・FAXによる提出は受け付けません。

なお、国外からの申請については、申請に先立ち、必ず指定の提出先に電話、E-mail等で提出先や申請資格の確認を行ってください。

| 居住国                   | 提出先                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国際交流基金海外事務所（ASEAN 域内） |                                                                                                                                                                                                           |
| インドネシア<br>Indonesia   | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター<br>The Japan Foundation, Jakarta<br>Address: Summitmas I, 2-3F, Jalan Jenderal Sudirman, Kav. 61-62 Jakarta Selatan 12190, Indonesia<br>Tel: +62-21-520-1266                          |
| カンボジア<br>Cambodia     | アジアセンター プノンペン連絡事務所<br>The Japan Foundation Asia Center, Phnom Penh<br>Address: #22, Hotel Cambodiana, 313 Sisowath Quay, Phnom Penh, Cambodia<br>Tel: +855-23-21-4581                                     |
| フィリピン<br>Philippines  | 国際交流基金マニラ日本文化センター<br>The Japan Foundation, Manila<br>Address: 23F, Pacific Star Building, Sen. Gil Puyat Avenue, corner Makati Avenue, Makati City, Metro Manila, 1226, Philippines<br>Tel: +63-2811-6155 |
| マレーシア<br>Malaysia     | 国際交流基金クアラルンプール日本文化センター<br>The Japan Foundation, Kuala Lumpur<br>Address: 18th Floor, Northpoint Block B, Mid-Valley City, Medan Syed Putra, 59200, Kuala Lumpur, Malaysia<br>Tel: +60-3-2284-6228         |
| ミャンマー<br>Myanmar      | 国際交流基金ヤンゴン日本文化センター<br>The Japan Foundation, Yangon<br>Address: 1406, 14 <sup>th</sup> Floor, Building C, Pearl Condo, Kabar Aye Pagoda Road, Bahan Township, Yangon, Myanmar<br>Tel: +95-1-860-3794/5     |

|                     |                                                                                                                                                                                                             |
|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| タイ<br>Thai          | 国際交流基金バンコク日本文化センター<br>The Japan Foundation, Bangkok<br>Address: Serm Mit Tower, 10F, 159 Sukhumvit 21 (Asoke Road), Bangkok 10110, Thailand<br>Tel: +66-2-260-8560                                          |
| ベトナム<br>Vietnam     | 国際交流基金ベトナム日本文化交流センター<br>The Japan Foundation Center for Cultural Exchange in Vietnam<br>Address: No. 27 Quang Trung Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam<br>Tel: +84-4-3944-7419                      |
| ラオス<br>Laos         | アジアセンター ビエンチャン連絡事務所<br>The Japan Foundation Asia Center, Vientiane<br>Address: ANZ BANK Building 3rd Floor, 33 Lane Xang Avenue, Ban Hatsady, Chantabouly District, Vientiane, Laos<br>Tel: +856-21-240-280 |
| 日本国大使館 (ASEAN 域内)   |                                                                                                                                                                                                             |
| ブルネイ<br>Brunei      | 在ブルネイ日本国大使館<br>The Embassy of Japan in Brunei Darussalam<br>Address: House No. 33, Simpang 122 Kampong Kiulap Bandar Seri Begawan BE1518 Brunei Darussalam<br>Tel: +673-222-9265                            |
| シンガポール<br>Singapore | 在シンガポール日本国大使館ジャパン・クリエイティブ・センター (JCC)<br>Japan Creative Centre (JCC), Embassy of Japan in Singapore<br>Address: 4 Nassim Road, 258372 Singapore<br>Tel: +65 6737-0434                                        |

(3) 留意事項

- ア 所定用紙によらない申請は審査の対象になりません。また、申請書及び付属資料（推薦書等を含む）は一切返却しません。
- イ 締切日を過ぎて提出された申請書及び付属資料（推薦書を含む）は受け付けません。
- ウ 同一申請者からの複数の申請があった場合は全ての申請を無効とします。

10 事業に関する情報の公開

- (1) 採用された場合、申請者の氏名・団体の名称、専門分野、所属機関、活動内容、活動対象国、フェロースhip期間等の情報は、国際交流基金事業実績、年報、ウェブサイト等において公表されます。
- (2) フェローから提出された報告書やフェロースhipによる成果については、国際交流基金のウェブサイト等を通して広く一般に公表する予定です。
- (3) 「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」(平成13年法律第140号)に基づく開示請求が国際交流基金に対してなされた場合には、同法に定める不開示情報を除き、提出された申請書類等は、開示されます。

11 個人情報の取扱い

- (1) 国際交流基金は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第59号)ほか、各国・地域等の個人情報保護に関わる法律を遵守し、個人情報を取り扱う際には、適正な収集・利用・管理を行います。国際交流基金の個人情報保護への取組については、以下のウェブサイトをご覧ください。

(日本語) <http://www.jpf.go.jp/j/privacy/> (英語) <http://www.jpf.go.jp/e/privacy/>

- (2) 申請書及び添付書類に記入された情報は、採否審査、事業実施、事後評価等の手続のほか、次のような目的で利用します。

採用者の氏名、性別、職業・肩書、所属先、事業期間、事業内容等の情報は、国際交流基金の事業実績、年報、ウェブサイト等の公表資料への掲載、統計資料作成に利用されます。また、国際交流基金事業の広報のため、報道機関に提供することがあります。

採用者の氏名、国籍、住所、性別、生年、活動テーマ、所属機関、職業・肩書、受入機関、滞在期間等に関する情報を以下の機関等に提供します。

(ア) 日本国外務省及び関連各公館等

(イ) 保険会社及びその代理店等（海外旅行傷害保険加入等のため）

申請書は、採否審査及び事後評価等のため、外部有識者等の評価者に提供することがあります。

提供する際、評価者の方には、個人情報の安全確保のための措置を講じていただくようにしています。

事業終了後に、採用者に対して、本件事業に関するフォローアップのためのアンケートをお願いすることがあります。

記入される連絡先に他の国際交流基金事業についてのご連絡を差し上げることがあります。

- (3) 採用者の氏名、性別、職業・肩書、所属先、活動テーマ、Email アドレス、受入機関、受入協力者の氏名及び所属先等の情報は、フェロー間の情報交流を目的として他のフェローに公開される場合があります。
- (4) 国際交流基金に提出された報告書・成果物等は、国際交流基金事業の広報のため、公開することがあります。
- (5) 採用者が受入機関において活動を遂行するために必要な範囲で、申請書等のコピーを同機関に送付する場合があります。
- (6) これらの個人情報の取扱いについては、申請者より事業関係者にも事前にご説明くださるようお願いいたします。
- (7) 本プログラムに応募された方は、上記の個人情報の取扱いに同意したものとみなします。

## 12 問合せ先

独立行政法人 国際交流基金アジアセンター 文化事業第2チーム アジア・フェロースhip係  
 〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-16-3  
 Tel. +81-3-5369-6025  
 E-mail jfac-fellowship@jpf.go.jp

以下は切り取って、宛名ラベルとしてお使いいただけます。(日本からの申請者用)

|                                               |                                               |
|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 〒160-0004<br>東京都新宿区四谷4-16-3                   | 〒160-0004<br>東京都新宿区四谷4-16-3                   |
| 国際交流基金 アジアセンター<br>文化事業第2チーム<br>アジア・フェロースhip係行 | 国際交流基金 アジアセンター<br>文化事業第2チーム<br>アジア・フェロースhip係行 |
| 【アジア・フェロースhip申請書類在中】                          | 【アジア・フェロースhip申請書類在中】                          |

アジア・フェローシップ・プログラム  
申請書

[様式第1号]

基金使用欄

独立行政法人国際交流基金理事長 殿

|      |      |       |
|------|------|-------|
| 日本国内 | 海外直接 | 事・大・総 |
|      |      |       |

独立行政法人国際交流基金プログラム・ガイドラインに従い、下記のとおり助成金の交付を申請します。

提出日：

|   |   |   |
|---|---|---|
| 年 | 月 | 日 |
|---|---|---|

申請区分：

|                |                |
|----------------|----------------|
| 短期 (21日 ~ 59日) | 長期 (60日 ~ 6か月) |
|----------------|----------------|

1 申請者

(1) 氏名 ( パスポートに記載のある氏名 )

|          |       |     |     |     |           |
|----------|-------|-----|-----|-----|-----------|
| 氏名 (英語)  |       |     | 印   |     |           |
| 氏名 (母国語) |       |     |     |     |           |
| 芸名等      |       |     |     |     |           |
| 敬称       | Prof. | Dr. | Ms. | Mr. | Other ( ) |

(2) 生年月日・性別・国籍等

|                 |        |     |        |    |   |   |
|-----------------|--------|-----|--------|----|---|---|
| 生年月日<br>(月/日/年) | / / 19 | 年齢  | 歳      | 性別 | 男 | 女 |
| 国籍              | 市民権    | 永住権 | ( 国名 ) |    |   |   |

(3) 自宅住所・連絡先

|           |      |
|-----------|------|
| 住所        | 郵便番号 |
|           | 国：   |
| E-mail/電話 |      |

(4) 現職

|           |      |
|-----------|------|
| 現職 ( 役職 ) |      |
| 勤務先・所属機関  |      |
| 住所        | 郵便番号 |
|           | 国：   |
| E-mail/電話 |      |



2 経歴（詳細な履歴（活動経歴書）は別添してください）

(1) 学歴

| 学位取得年 | 学位 | 機関 | 分野 |
|-------|----|----|----|
|       |    |    |    |
|       |    |    |    |
|       |    |    |    |
|       |    |    |    |

(2) 職歴

| 年 | 職歴 |
|---|----|
|   |    |

(3) 主な実績（論文、著書、作品、事業など）

| 年 | 活動実績 |
|---|------|
|   |      |

(4) 所属学会・団体等

|  |
|--|
|  |
|--|

3 海外での活動歴（主要な活動を5つまで）

（活動歴1）

|      |  |
|------|--|
| 期間   |  |
| 場所   |  |
| 活動内容 |  |

（活動歴2）

|      |  |
|------|--|
| 期間   |  |
| 場所   |  |
| 活動内容 |  |

(活動歴3)

|      |  |
|------|--|
| 期間   |  |
| 場所   |  |
| 活動内容 |  |

(活動歴4)

|      |  |
|------|--|
| 期間   |  |
| 場所   |  |
| 活動内容 |  |

(活動歴5)

|      |  |
|------|--|
| 期間   |  |
| 場所   |  |
| 活動内容 |  |

4 プロジェクトの概要 ( 詳細は、後の「8 事業内容 (詳細)」に記入のこと)

(1) プロジェクトのタイトル

(日本語)

(英語)

(2) プロジェクトの要約 (200字以内)

( 文字)

(3) プロジェクトの分野

| 分野           | 詳細 |
|--------------|----|
| 文化芸術         |    |
| 学術・知的交流      |    |
| スポーツ         |    |
| メディア・ジャーナリズム |    |
| 市民社会         |    |
| その他          |    |

(4) フェローシップの期間

|    |               |
|----|---------------|
| 期間 | 年 月 日 ~ 年 月 日 |
|----|---------------|

(5) スケジュール

| いつから<br>(年月日) | いつまで<br>(年月日) | 国<br>(都市) | 活動内容<br>(受入機関や本活動への協力者・取材先も記載のこと) |
|---------------|---------------|-----------|-----------------------------------|
|               |               |           |                                   |
|               |               |           |                                   |
|               |               |           |                                   |
|               |               |           |                                   |
|               |               |           |                                   |

(6) 受入保証

活動対象国での受入機関、受入協力者は協働性を担保するうえで不可欠です。

「同意済み」の場合は、受入を保証することが明記された「受入同意文書」を添付してください。書式は自由ですが、必ず「承諾者の氏名」「押印若しくは直筆サイン」「受入期間」を記載してください。

「調整中」の場合は、調整の状況がわかる資料を添付してください。添付資料がない場合は、同意・調整がされていないものと見做し、審査において優先度が低くなります。

| 国 | 受入機関・受入協力者 | 状況                |
|---|------------|-------------------|
|   |            | 同意済み<br>調整中<br>未定 |
|   |            | 同意済み<br>調整中<br>未定 |
|   |            | 同意済み<br>調整中<br>未定 |

(7) 英語能力

|      |                                              |      |      |      |
|------|----------------------------------------------|------|------|------|
| 会話   | Excellent                                    | Good | Fair | Poor |
| 読み   | Excellent                                    | Good | Fair | Poor |
| 書き   | Excellent                                    | Good | Fair | Poor |
| 検定試験 | 種類： TOEFL TOEIC IELTS Other ( )<br>スコア： ( )点 |      |      |      |

(8) 日本語能力 (日本人は不要)

|      |                                 |      |      |      |
|------|---------------------------------|------|------|------|
| 会話   | Excellent                       | Good | Fair | Poor |
| 読み   | Excellent                       | Good | Fair | Poor |
| 書き   | Excellent                       | Good | Fair | Poor |
| 検定試験 | 種類： JLPT Other ( )<br>スコア： ( )点 |      |      |      |

(9) その他の語学

活動に必要な言語があれば、その言語名と、運用能力・準備状況などを記入してください。

| 言語 | 現在の運用能力 / 準備状況など |
|----|------------------|
|    |                  |
|    |                  |

**5 推薦者（ 推薦書を依頼した人物2名の氏名、所属機関、連絡先等）**  
（推薦者1）

|          |
|----------|
| ・氏名：     |
| ・役職：     |
| ・所属：     |
| ・E-mail： |
| ・電話：     |

（推薦者2）

|          |
|----------|
| ・氏名：     |
| ・役職：     |
| ・所属：     |
| ・E-mail： |
| ・電話：     |

**6 申請されたプロジェクトに関する参考文献や先行事例**

|  |
|--|
|  |
|--|

**7 過去における国際交流基金からのフェローシップの受給歴（年度、プログラム名、助成金額）**

|  |
|--|
|  |
|--|

8 事業内容（詳細）（添付不可、文字サイズ10ポイントで記入、2～3枚程度におさめること）

|                                                                                                                                                                                                                                                                              |                   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| プロジェクト<br>タイトル                                                                                                                                                                                                                                                               | （日本語）<br><br>（英語） |
| <p>以下の内容を必ずご記入ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) プロジェクトを企画した背景・きっかけ</li> <li>(2) プロジェクトの目的</li> <li>(3) プロジェクトの内容</li> <li>(4) 準備状況</li> <li>(5) 受入機関や本活動への協力者・取材先も記載のこと</li> <li>(6) 期待される成果（活動期間中、活動直後、将来的な成果などを含めて）</li> <li>(7) 成果の発表、普及の計画</li> </ol> |                   |

前頁からの続き（「8 事業内容（詳細）」）

Blank content area for the continuation of the report.

前頁からの続き（「8 事業内容（詳細）」）

Blank content area for the continuation of the text from the previous page.

<添付資料 [ 様式自由 ] >

以下の書類を添付してください。

申請者の経歴（活動経歴書）（過去の業績に関する資料を添付してください）

受入機関・受入協力者からの同意文書

受入機関・受入協力者に関する情報（機関概要、略歴、活動経歴書など）及び連絡先

<推薦書>

推薦書（2通）

推薦書は、様式をダウンロードのうえ2名の推薦者に渡し、国際交流基金アジアセンター、あるいは申請書を提出する国際交流基金の海外事務所又は日本国大使館に、推薦者から直接送付してください。

第1回募集は2018年12月3日、第2回募集は2019年6月3日必着で送付するように推薦者に依頼してください。

以上





## 推薦書 REFERENCE LETTER

受入協力者とは異なる方に依頼してください  
 \*Referee shall be different from your Host Individual

下記申請者は国際交流基金・アジア・フェローシップを受けることを希望し、貴殿の推薦を得たいとしております。

つきましては、申請者の当該プロジェクトに取り組む資格、その成功の見込み、必要性及び重要性、貴殿と申請者の専門分野におけるかかわり等について日本語又は英語でご記入の上、**[ 第 1 回 ] 2018 年 12 月 3 日 / [ 第 2 回 ] 2019 年 6 月 3 日必着**で下記枠内の国際交流基金アジアセンター、あるいは国際交流基金海外事務所又は日本国大使館に直接原本をご送付ください。

本推薦書は、採否審査及び事後評価のため、外部有識者等の評価者に提示されることがあります。その際、評価者には個人情報への安全確保の措置を講じていただくようにしています。

E-mail: jfac-fellowship@jpf.go.jp

The person named below wishes to apply for the Japan Foundation Asia Center Fellowship. The applicant would like you to write a letter of reference.

Please assess the applicant's competence to carry out the proposal as described, as well as the importance and impact of the project, and describe the relationship between you and the applicant in the special field. Please send the original form to the Japan Foundation overseas office or the Japanese Embassy whose address appears below in the box, or directly to the Japan Foundation Asia Center in Tokyo, and **the deadlines are December 3, 2018 (first-round) / June 3, 2019(second-round)**. Copies of the form are provided to outside consultants in the screening process and evaluation of the finished project. On providing them, the Japan Foundation asks the consultants to secure personal information.

E-mail: jfac-fellowship@jpf.go.jp

**申請者記入欄**     \*Note: the applicant should fill in the below box.

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| <p>以下の宛先に送付願います。 Please send this form to the address as below.</p> <p> <input type="checkbox"/> 国際交流基金アジアセンター                      <input type="checkbox"/> 国際交流基金海外事務所・日本国大使館 [                      ]<br/>                 〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-16-3                      the Japan Foundation overseas office / the nearest Embassy of Japan<br/>                 The Japan Foundation Asia Center                      住所 address<br/>                 4-16-3 Yotsuya, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0004                      (                      )<br/>                 Tel: +81-(0)3-5369-6025             </p> |                                           |
| 申請者<br>Applicant                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 氏名 Name<br><hr/> プロジェクト名<br>Project title |

**評価者記入欄**     \*Note: the Referee should fill in the below box.

|                                                                                                             |                            |                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|----------------------|
| 評価者<br>Referee                                                                                              | 氏名 Name                    | 署名又は印鑑     Signature |
|                                                                                                             | 現職<br>Position             | 所属機関<br>Institution  |
|                                                                                                             | 連絡先<br>Contact information |                      |
| 所見 ( 本欄のみならず、署名済みの書類を添付いただいても結構です。 )<br>Comments (You may either use this space or attach a signed letter.) |                            |                      |